

平成 25 年6月27日

公益社団法人 国際厚生事業団

照会先: (担当) 稲垣、高橋

電話番号: 03-6206-1138

「効果的な学習支援事業の改善に向けた、 第 102 回看護師国家試験EPA候補者受験者アンケート」について

公益社団法人 国際厚生事業団 (JICWELS) では、このほど、「効果的な学習支援事業の改善に向けた、第 102 回看護師国家試験 EPA 候補者受験者アンケート」の結果を取りまとめましたので公表します。

このアンケートは、経済連携協定 (EPA) に基づく看護師候補者のうち、今年2月に行われた看護師国家試験の受験者を対象に、試験時間の延長や振り仮名付き問題冊子の使用など、国家試験への特例的対応やJICWELSで実施している学習支援について、調査をしたものです。

調査対象は、第 102 回看護師国家試験を受験した EPA 候補者 311 名から帰国後再入国受験者 14 名を除いた計 297 名で、そのうち、251 名から回答を得ました。

JICWELS は、今回の調査結果を踏まえて今年度、「役に立った」と回答の多かった「集合研修」、「オンデマンド講義」の充実や、「学習診断・個別学習指導」などの実施方法や周知の改善を図り、効果的な学習支援を行っていきます。

【ポイント】

国家試験の特例的対応について

- 総ルビ問題冊子 (振り仮名付き問題冊子) と通常問題冊子の使用に関しては、「総ルビ問題冊子のみ使用した」が 47.8% と最も多く、「両方使用した」33.9% となり、合わせて 81.7% の受験生が総ルビ問題冊子を使用していた。一方、「通常問題冊子のみ使用した」が 12.0%。
- 総ルビ問題冊子を使用した 205 名を対象に、通常問題冊子と比べて回答する際の助けとなったか聞いたところ、「助けとなった」が 75.1%、「あまり変わらなかった」が 19.0%。
- 通常問題冊子のみ使用した 30 名のうち8名が合格 (合格率 29.6%)、総ルビの問題冊子のみ使用した 120 名のうち6名が合格 (合格率 5.0%)。
- 試験時間が 1.3 倍に延長されたことについては、「ちょうどよかった」が 65.3% と最も多く、次いで「時間が足りなかった」が 13.1%。合否別の結果では、「時間が余った」は、合格者では 37.0%、不合格者では 8.9%。
- 問題解答後の見直しについては、「少しできた」が 41.8%、次いで「できた」が 30.7%。合否別の結果では、見直しが「できた」は、合格者では 74.1%、不合格者では 25.4%。

JICWELS が実施した学習支援事業について

- 学習支援事業で役に立ったものについて複数回答形式で聞いたところ、「集合研修」135 件、「オンデマンド講義」126 件、「模擬試験」107 件、「e-ラーニング」78 件、「学習診断・個別学習指導」42 件、「学習相談」31 件と続く。

■アンケート調査の概要

1. 調査の目的

第 102 回看護師国家試験より EPA 看護師候補者への特例的な対応として、試験時間が 1.3 倍に延長され、全ての漢字に振り仮名を付けた問題冊子が一般受験者用の問題冊子にあわせて配布されました。

そこで、当事業団では、今後の学習支援事業の改善を目的とし、第 102 回看護師国家試験を受験した EPA 看護師候補者を対象に、国家試験の特例的な対応への反応や効果的な学習支援事業について把握するため、アンケートを実施しました。

2. 調査の期間

平成 25 年 3 月 25 日(月)～4 月 5 日(金)

3. 調査の対象

アンケート調査対象数は、第 102 回看護師国家試験を受験した総 EPA 候補者数(311 名)より、帰国後再入国受験者数(14 名)を除いた、計 297 名(内訳:インドネシア 161 名、フィリピン 136 名)。そのうち、251 名(合格者 27 名、不合格者 224 名。インドネシア 141 名、フィリピン 110 名)より回答を得て、回答率は 84.5%でした(合格者 90.0%、不合格者 72.9%。インドネシア 87.5%、フィリピン 80.8%)。

4. 調査の方法

JICWELS が受入れ施設へ電子メールにて案内を配信し、WEB 入力にて回答を受領した。

※4 月 24 日(水)まで追加回答を受領した。

5. 調査の項目

- (1) 特例的な対応等への反応
- (2) 苦手分野・得意分野について
- (3) 学習支援について

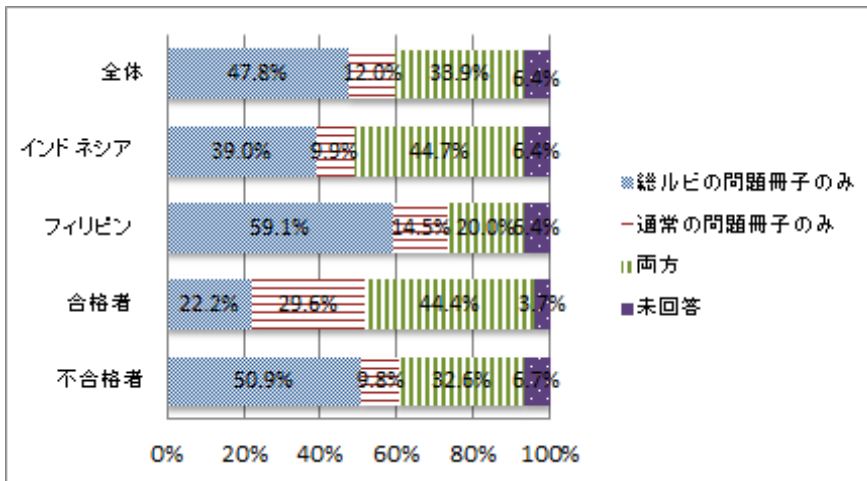
■アンケート調査の結果(概要)

(1) 第102回看護師国家試験特例的な対応への反応

① どの問題冊子を使用しましたか？

(N=251)

回答数	総ルビの問題冊子のみ使用した	通常の問題冊子のみ使用した	両方使用した	未回答
全体 (N=251)	120(47.8%)	30(12.0%)	85 (33.9%)	16(6.4%)
インドネシア (N=141)	55(39.0%)	14(9.9%)	63(44.7%)	9(6.4%)
フィリピン (N=110)	65(59.1%)	16(14.5%)	22(20.0%)	7(6.4%)
合格者 (N=27)	6(22.2%)	8(29.6%)	12(44.4%)	1(3.7%)
不合格者 (N=224)	114(50.9%)	22(9.8%)	73(32.6%)	15(6.7%)

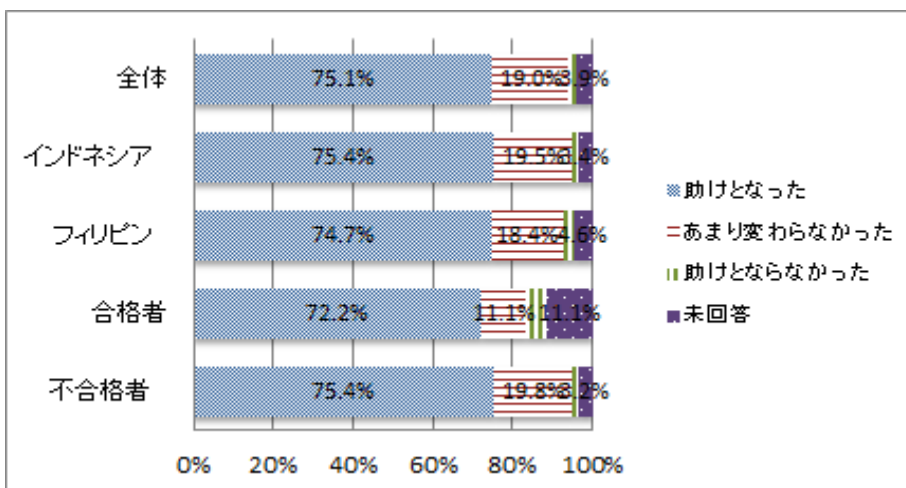


② (総ルビの問題冊子を使用した方にお聞きします)

通常の問題冊子と比べて解答するにあたり助けとなりましたか？

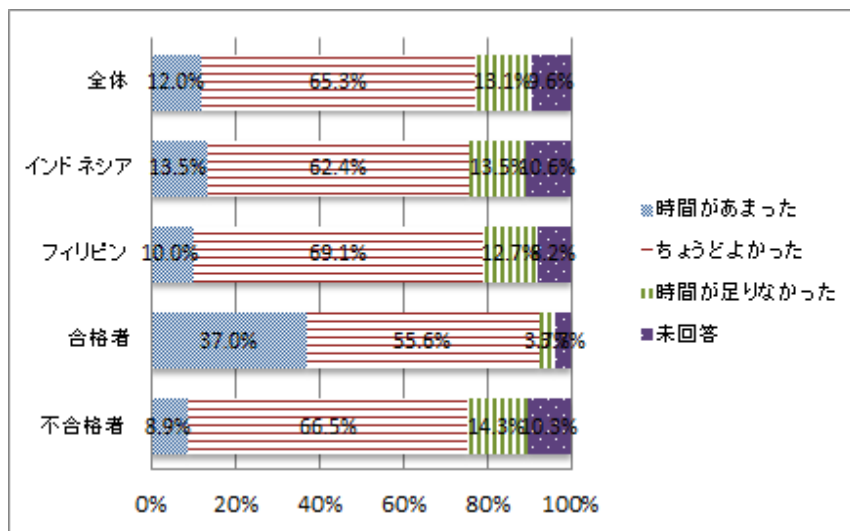
(N=205)

回答数	助けとなった	あまり変わらなかった	助けとならなかった	未回答
全体	154(75.1%)	39(19.0%)	4(2.0%)	8(3.9%)
インドネシア (N=118)	89(75.4%)	23(19.5%)	2(1.7%)	4(3.4%)
フィリピン (N=87)	65(74.7%)	16(18.4%)	2(2.4%)	4(4.6%)
合格者 (N=18)	13(72.2%)	2(11.1%)	1(5.6%)	2(11.1%)
不合格者 (N=187)	141(75.4%)	37(19.8%)	3(1.6%)	6(3.2%)



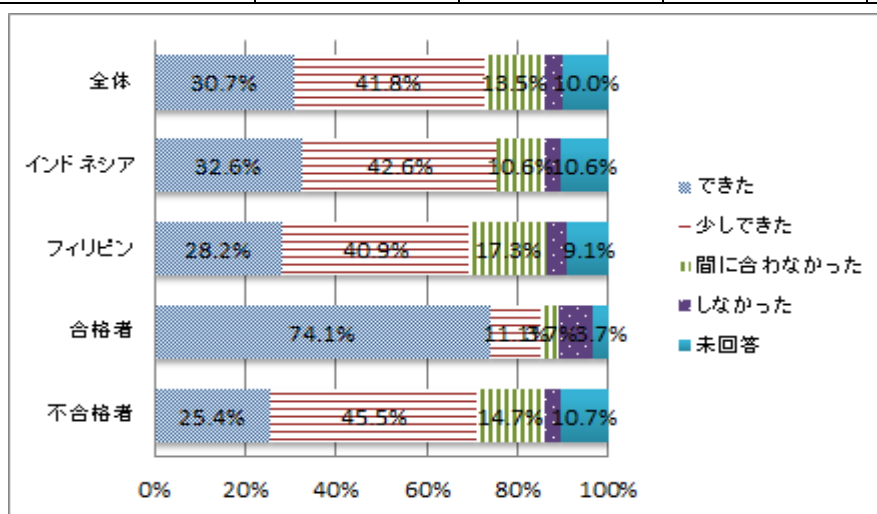
③ 試験の時間は十分でしたか？

回答数	時間があまった	ちょうどよかった	時間が足りなかった	未回答
全体(N=251)	30(12.0%)	164(65.3%)	33(13.1%)	24(9.6%)
インドネシア(N=141)	19(13.5%)	88(62.4%)	19(13.5%)	15(10.6%)
フィリピン(N=110)	11(10.0%)	76(69.1%)	14(12.7%)	9(8.2%)
合格者(N=27)	10(37.0%)	15(55.6%)	1(3.7%)	1(3.7%)
不合格者(N=224)	20(8.9%)	149(66.5%)	32(14.3%)	23(10.3%)



④ 見直しは出来ましたか？

回答数	できた	少しできた	間に合わなかった	しなかった	未回答
全体(N=251)	77(30.7%)	105(41.8%)	34(13.5%)	10(4.0%)	25(10.0%)
インドネシア(N=141)	46(32.6%)	60(42.6%)	15(10.6%)	5(3.5%)	15(10.6%)
フィリピン(N=110)	31(28.2%)	45(40.9%)	19(17.3%)	5(4.5%)	10(9.1%)
合格者(N=27)	20(74.1%)	3(11.1%)	1(3.7%)	2(7.4%)	1(3.7%)
不合格者(N=224)	57(25.4%)	102(45.5%)	33(14.7%)	8(3.6%)	24(10.7%)



⑤ 第102回看護師国家試験問題で、難しいと感じた問題はどれですか？ 特に難しいと感じた3問を教えてください

(※回答形式が統一されておらず、問題番号を回答した64名分の回答のみ集計)

難しいと回答した者が5名以上の問題番号

回答数	午前	午後
5～9名	53, 80, 91, 94, 113	59, 89, 96, 97, 99, 112, 114
10名以上		48, 90

(2) 苦手分野・得意分野について

① 特に苦手と思う分野はどれですか (複数回答可)

回答数が多かった上位3分野 (回答者数)

- 社会保障制度と生活者の健康 (170)
- 精神看護学 (139)
- 母性看護学 (106)

② 自分の得意だと思ふ分野はどれですか (複数回答可)

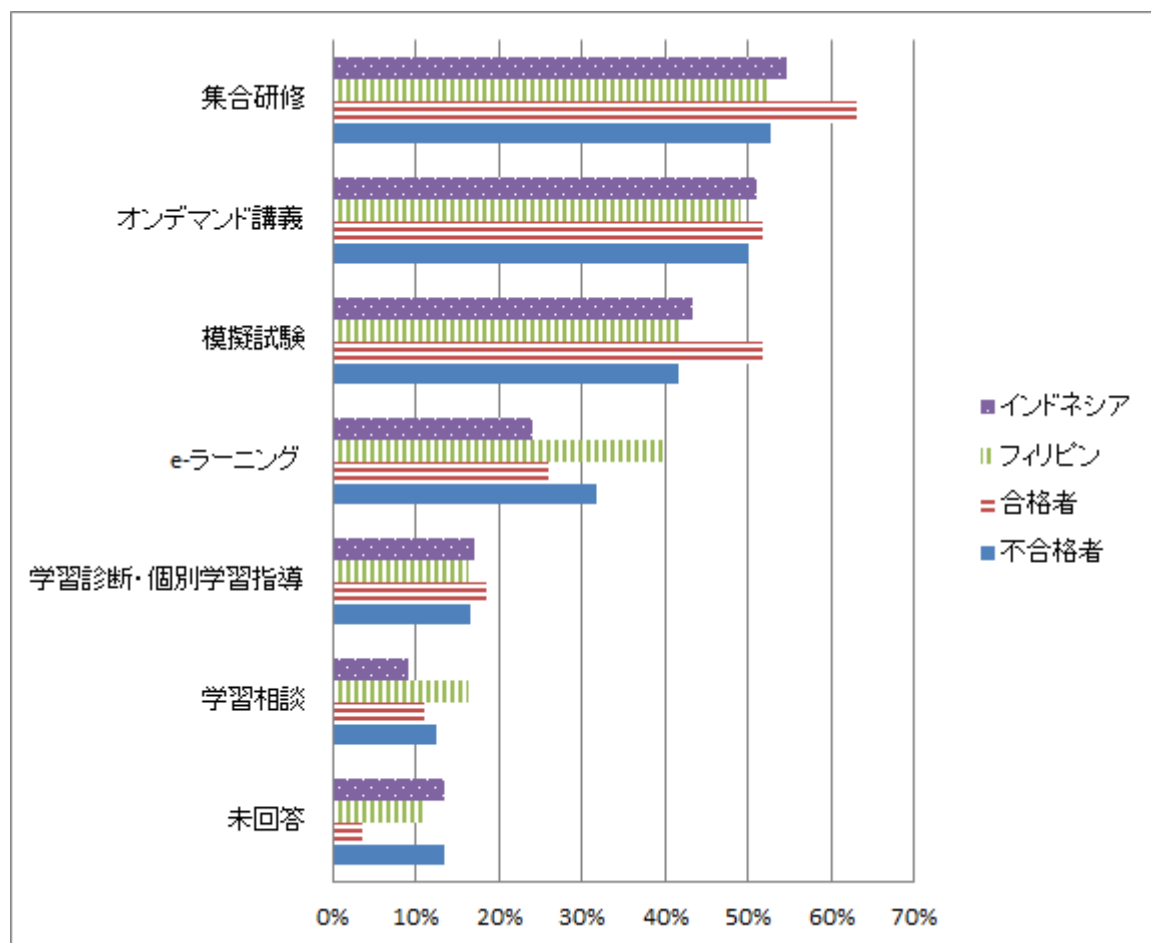
回答数が多かった上位3分野 (回答者数)

- 必修問題 (130)
- 基礎看護学 (100)
- 成人看護学 (59)

(3) 学習支援について

JICWELS の学習支援事業で最も役に立ったものは何ですか（複数回答可）

	集合研修	オンデマンド講義	模擬試験	e-ラーニング	学習診断・個別学習指導	学習相談	未回答
全体 (N=251)	135	126	107	78	42	31	31
インドネシア (N=141)	77	72	61	34	24	13	19
フィリピン (N=110)	58	54	46	44	18	18	12
合格者 (N=27)	17	14	14	7	5	3	1
不合格者 (N=224)	118	112	93	71	37	28	30



■アンケート結果より

今回のアンケート結果からは、総ルビの問題冊子を使用した 205 名の受験生（「総ルビの問題冊子のみ使用した」と「両方使用した」の合計）のうち、154 名（75.1%）が、「助けとなった」と回答しています。また、試験時間の延長については、164 名（65.3%）が「ちょうどよかった」と回答しています。これらのことから、今回の試験で特例措置として実施された「総ルビの問題冊子」や「試験時間の延長」が EPA 受験者に有効に活用されている様子がうかがえます。

一方、問題冊子の使用状況別の合格率では、通常問題のみ使用した 30 名のうち 8 名が合格（合格率 29.6%）、総ルビの問題冊子のみ使用した 120 名のうち 6 名が合格（合格率 5.0%）となっていることから、日本語の習得度合いが合格率に与える影響は、依然として大きいことがうかがえます。

また、平成 24 年度に国際厚生事業団で実施した学習支援事業では、「集合研修」、「模擬試験」、「オンデマンド講義」については、合格者の半数以上が「役に立った」と回答しています。合格者は、「集合研修」、「模擬試験」、「オンデマンド講義」をそれぞれの受験学習に活用して、役立てたことがうかがえます。

これらの結果を受けて、国際厚生事業団では「役に立った」と回答の多かった「集合研修」、「オンデマンド講義」の内容のさらなる充実、「学習診断・個別学習指導」等の実施方法や周知の改善を図り、より効果的な学習支援に努めてまいります。

平成 24 年度 EPA 看護師候補者に対する
(社)国際厚生事業団支援策について

1. 外国人看護師候補者学習支援事業

(1) 学習診断に基づく個別学習指導

- 年 3 回、国試対策専門家による Skype 及び訪問での実施。
- 事前の小テスト等による学習進捗確認と模擬試験の結果等を基に、候補者個々にあった学習方法をアドバイス。

(2) 国試対策専門家による受験対策講義のネット配信(オンデマンド講義)

- 頻出分野を候補者向けに分かりやすく解説した国試対策講座(全 100 講義)
- 頻出分野の具体的な学習方法、学習の進め方等の習得を目的とした夏期講義(全 10 講義)
- 国試直前期の短期間で得点力強化を目的とした冬期講義(全 10 講義)

(3) e-ラーニングによる国試過去問題演習(9年分)

- e-ラーニング上に過去 9 年分の過去問題(解説付き。日本語・英語・インドネシア語版)、分野別過去問題演習、専門用語学習コンテンツ等を掲載。
- オンデマンド講義受講後に、過去問題を解く事で習得度合いを確認。

(4) 集合研修

- 年 5 回、東京・大阪・福岡の 3 会場にて実施。

	研修内容
第1回	学習ガイダンス
第2～4回	模擬試験と模擬試験解説講義(英語・インドネシア語の通訳つき)
第5回	候補者の学習進捗状況に合わせたクラス別直前対策講義

(5) 模擬試験

- 年 3 回、集合研修会場にて一斉実施。
- 第 2 回、第 3 回は、総ルビの問題冊子の配布及び試験時間の延長等、外国人看護師候補者に対する特例的な対応も取り入れ、より本番に近い形での模擬試験を実施。

(6) 学習相談

- e-ラーニング学習システムを介して、候補者及び受入れ施設研修担当者を対象とした国試対策・日本語専門家による学習相談を実施。

(7) 学習ガイダンス

- 集合研修において、具体的な受験学習方法を説明する学習ガイダンスを実施。

対象者	主な内容
平成 21～23 年度入国候補者	受験学習計画の立て方、具体的な学習の進め方のポイント
平成 24 年度入国候補者	就労開始後に受験対策学習ガイダンス、受入れ施設研修担当者参加型の日本語ガイダンスを実施

(8) 看護師国家試験受験のための日本語能力テスト・看護専門知識テストの実施

- 就労開始直後に候補者の日本語力や母国語による看護専門知識の習得度合いを確認するテストを e-ラーニング上で実施。

(9) 平成 24 年度入国候補者及び施設担当者を対象とした教材の配布

- ① 日本語アシスト(英語版・インドネシア語版)
- ② 漢字ステップ(英語版・インドネシア語版)
- ③ 看護師国家試験準備練習問題①漢字からのアプローチ
- ④ 看護師国家試験準備練習問題②第 99～101 回必修問題
- ⑤ 看護師国家試験準備練習問題③第 101 回状況設定問題
- ⑥ 看護師国家試験準備練習問題④第 100 回状況設定問題

2. その他、外国人看護師候補者受入れ支援事業

- (1) 巡回訪問での日本語学習指導
- (2) 看護師国家試験過去問題の翻訳(英語・インドネシア語)
- (3) 受入れ施設研修担当者会議の実施(看護師国家試験合格報告会)

以上